

1 目指す学校像

○児童生徒が自己実現を達成できる教育を行う学校 ○保護者が成長と発達を実感できる教育を行う学校 ○地域になくてはならない存在として愛される学校 ○教職員が仕事に誇りをもち、やりがいを感じる学校

2 本年度の教育目標

一人一人の教育ニーズを適切に把握し、能力等適性に応じた教育により、持てる力を発揮し、社会参加に向け基礎的な知識・技能・態度・意欲を育む。

3 評価 ※評価：A(目標以上の成果があった) B(おおむね目標が達成できた) C(5～6割程度の成果しか上げられなかった) D(C以下) ※アンケートの結果①そう思う②ややそう思う③あまり思わない④思わない⑤わからない

項目	昨年度の課題	本年度の目標	目標達成のための手立て	自己評価	学校関係者評価	今後の課題	
教育課程の改善	<教育課程の見直し> ○教科指導を重視する。 ◆全ての類型の教育課程に国語、数学(算数)を位置づけ授業実践を進める。 ○「学習到達度チェックリスト」を活用して実態把握を行う。 ○「指導内容表-各教科の具体的内容-」を参考に目標を設定する。 ○国語・算数(数学)の目標・指導の手立てを個別の指導計画に明記し評価を丁寧に行う。 ○国語・算数(数学)の指導内容や方法について、学部を超えた情報交換を行う。 ○夏季休業中の校内研修(長崎謙早特支)及び教育課程研究会を、2学期からの実践に活かす。 ○コミュニケーション指導の強化	○教科指導を重視する。 ◆全ての類型の教育課程に国語、数学(算数)を位置づける。 ◆児童生徒が実態に合った国語・算数(数学)の学習内容を学ぶことができる。 ◆チェックリスト等の手掛かりとなるツールを用いてすべての教員が国語・算数(数学)の実態把握と目標設定ができる。 ◆国語・算数(数学)の授業実践モデルを複数構築する。	○全ての類型の教育課程に国語、数学(算数)を位置づけ授業実践を進める。 ○「学習到達度チェックリスト」を活用して実態把握を行う。 ○「指導内容表-各教科の具体的内容-」を参考に目標を設定する。 ○国語・算数(数学)の目標・指導の手立てを個別の指導計画に明記し評価を丁寧に行う。 ○国語・算数(数学)の指導内容や方法について、学部を超えた情報交換を行う。 ○夏季休業中の校内研修(長崎謙早特支)及び教育課程研究会を、2学期からの実践に活かす。	○全ての類型の教育課程に国語、数学(算数)を位置づけ、計画的に授業実践を進めることができた。 ○学習到達度チェックリストを活用して、国語・算数(数学)の実態把握を行い、発達段階に応じた目標設定を考え、指導につなげることができた。 ○国語、算数(数学)の指導内容は、実際に取り組んだ内容を調査し、重点重複障害がある児童生徒の国語、算数(数学)についてどのような指導を行ったかより検討を進めている。 ○重要事項等を見学した長崎県立特別支援学校の宮尾主幹教諭を講師に迎え、「重要事項等を見学した長崎県立特別支援学校の編成と改善について」学習した。 ◆教育課程の改善 教科別の指導率1(わかる授業) 教員①25.0%②66.6%③4.2%④4.2% 教科別の指導率2(わらいの明確化) 教員①8.7%②78.3%③13.0%④0.0%	B	・チェックリスト等の活用は、教員間の共通の基礎として、子どもたちが何ができて何ができないかを検討するエビデンスになり、権限をもって取り組めたのではないかと、取り組むの成果を土佐希望の家分校だけでなく、他校にも広めていければ、重度の子どもの教育がより充実するのではないかと、教員が児童生徒のよう向上心を感じ、道徳を立って授業に取り組んでいく。 ・教員が子どもの少い反応を見て達成感を感じ喜び、次へ進む力として国、算(数)へつなげていくという意思をもって進んでいる。 ・今年度の目標は概ね達成している。 ・Aに近いBである。 ◆教育課程の改善 教科別の指導率1(わかる授業) 保護者①89.2%②30.8%③0.0%④0.0%⑤0.0% 教科別の指導率2(わらいの明確化) 保護者①92.9%②0.0%③7.1%④0.0%⑤0.0% ◆自立活動の強化-1(専門家の活用) 保護者①57.1%②28.6%③7.1%④0.0%⑤7.1% ◆自立活動の強化-2(コミュニケーション) 保護者①64.3%②28.6%③7.1%④0.0%⑤0.0%	・チェックリスト等を活用して実態把握から目標設定、指導内容、評価へとつながる分りやすい手順を示し、定着させていく。 ・本年度取り組む、各教科等を合わせた指導の計画、授業内容等について研究を進め、より良い授業づくりを行う。 ・重度重複障害児の国語、算数、数学の指導内容について研究を継続する。 ・教職員全体が学び合いながら専門性を高めていく方法を取り入れスキルアップを目指す。 ・施設との連携を継続し、指導助言をもらい指導に生かすことを充実させる。 ・外部専門家による個別指導、研修会で、教員の指導についてのアドバイスをしてもらい指導の質を高める。
	<自立活動の強化> ○PT、ST、OT、ORTとの連携 ○コミュニケーション指導の強化	○自立活動を強化する。 ◆PT、ST、OT、ORTとの連携を一元推進する。 ◆コミュニケーション指導の充実を図る。	○質問・発言の記入シートを用いて、関係機関のPT、ST、OT、ORTとの連携を授業実践に繋げる。 ○土佐希望の家分校における指導・支援ガイドブックを活用した研修、セバリストを講師とした自立活動に係る研修、自主研修等を開催する。 ○コミュニケーションについての研修を開催する。 ○合理的配慮協力員や大学教授の支援を要請し、コミュニケーション力向上を目指した指導方法についての実践研究に取り組む。	○隣接する施設のPT・OT・STと連携し訓練の見学や身体づくりや療育指導等を行うことができた。また日々の指導について相談し連携をとることができた。 ○自立活動充実事業を活用して、外部専門家との連携を行った。PT(10回)：来校してもらい、具体的な支援方法を個別にアドバイスしてもらったり、実技を伴った講演をしてもらうことで日々の実践に生かすことができた。OT(1回)：見学の方の実践が分り指導に生かすことができた。 ○合理的配慮協力員派遣事業を活用した協力員(4回)に実技指導やICT活用についての講演をしてもらい、トビやOAの使い方を学ぶことができた。コミュニケーションの研修会は、徳島県こころ工房、宮崎美和子氏を講師に実践に対するアドバイスや、「子どもの意欲を引き出すコミュニケーションの工夫」について講演をしてもらった。また、コミュニケーションの充実を図るために、教員でグループを作り研修を深め、支援方法や事例をガイドブックにまとめることができた。 ◆自立活動の強化-1(専門家の活用) 教員①3.3%②62.5%③4.2%④0.0% ◆自立活動の強化-2(コミュニケーション) 教員①30.4%②69.6%③0.0%④0.0%	B	◆自立活動の強化-1(専門家の活用) 保護者①69.2%②30.8%③0.0%④0.0%⑤0.0% ◆自立活動の強化-2(コミュニケーション) 保護者①64.3%②28.6%③7.1%④0.0%⑤0.0%	
主体的・対話的・深い学びの推進	<アクティブラーニングの推進> ○主体的な学びを推進する。 ○授業における評価規程の策定 ○対話的な学びの保障 ○一人一人の表現手段を保障 <深い学びの追及> ○脱化の実践事例の蓄積	○本校・分校合同の授業改善チームを作り「深い学びをしよう!～主体的対話的な学びの追及～」に取り組み、授業改善のポイントを全校で共有していく。 ○3つの視点を明記した指導略案、振り返りシート等を使い、主体的・対話的に深い学びを意識した授業づくりと改善を行う。(授業改善に取り組む3点を明確にし、結果についても共有する。)	○本校・分校合同の授業改善チームを作り「深い学びをしよう!～主体的対話的な学びの追及～」に取り組み、授業改善のポイントを全校で共有していく。 ○3つの視点を明記した指導略案、振り返りシート等を使い、主体的・対話的に深い学びを意識した授業づくりと改善を行う。(授業改善に取り組む3点を明確にし、結果についても共有する。)	○4校合同授業改善チームにより、授業参観、協議を重ね、授業改善のポイントを明記した「主体的、対話的で深い学びの視点での授業改善シート(案)」を作成した。 ○今後は、校内で授業改善のポイントを周知し、シート(案)の活用を進め取組を推進することが必要。 ○授業改善を行うため、指導者と補助者が共有し評価できる振り返りシートを作成した。3つの視点で振り返り、児童生徒の評価に合わせ指導についても反省ができるシートにしたことで、教員同士の共通認識が進み、授業改善につながった。 ◆主体的・対話的で深い学びの推進 教員①17.4%②69.6%③13.0%④0.0%	B	評価はBが適当と思われる。 ◆主体的・対話的で深い学びの推進 保護者①71.4%②14.3%③14.3%④0.0%⑤0.0%	
	<深い学びの追及> ○脱化の実践事例の蓄積	○文化、芸術を推進する。 ◆文化・芸術に関連した学習及び社会参加の推進する。 ○障害者スポーツを振興する。 ◆体育や特別活動に障害者スポーツを取り入れて楽しむ。	○文化、芸術の推進とスポーツの振興に関連した授業、行事を企画、実施する。 ○文化、芸術に関する作品展等に積極的にエントリーしていく。 ○体育や特別活動に障害者スポーツを取り入れる。	○美術を学習する生徒3名で「365日の紙飛行機」と題して紙飛行機を作り「希望の家」に出展した。 ○小学部、中学部、高等部それぞれの学習グループで美術作品を制作し、「紙とあそぼう作品展」「山田のかかし祭り」「スピリットアート展」に出展し賞をいただいた。 ○障害者スポーツセンターで実施した親子運動会で、コロナロゲータ(ポッチャのボール)を使用し児童生徒の実態に合わせて本校独自にアレンジしたポッチャを行った。 ○第1回高知県ジュニアポッチャ大会に1名参加した。 ポッチャキャラバン2017in高知に1名参加した。 ○作品展では、家族が展示を見に行ってくれたり、表彰式に参加したりするなど、社会参加の機会が生まれました。 ◆文化・芸術の振興 教員①38.7%②62.5%③25.0%④4.2% ◆障害者スポーツの推進 教員①20.8%②33.3%③33.3%④12.5%	C	・いろいろな専門家を活用しながら、取り組んでみてはどうか、プロによる絵画や、顔絵などもいいのではないかと、教員だけでは大変な部分もあるだろうので、人脈など協力していきたい。 ◆文化・芸術の振興 保護者①64.3%②28.6%③7.1%④0.0%⑤0.0% ◆障害者スポーツの推進 保護者①78.6%②14.3%③7.1%④0.0%⑤0.0%	
文化・芸術・スポーツの振興	<文化・芸術・スポーツの振興> ○文化、芸術・スポーツに関連した学習及び社会参加の推進	○文化、芸術を推進する。 ◆文化・芸術に関連した学習及び社会参加の推進する。 ○障害者スポーツを振興する。 ◆体育や特別活動に障害者スポーツを取り入れて楽しむ。	○文化、芸術の推進とスポーツの振興に関連した授業、行事を企画、実施する。 ○文化、芸術に関する作品展等に積極的にエントリーしていく。 ○体育や特別活動に障害者スポーツを取り入れる。	○美術を学習する生徒3名で「365日の紙飛行機」と題して紙飛行機を作り「希望の家」に出展した。 ○小学部、中学部、高等部それぞれの学習グループで美術作品を制作し、「紙とあそぼう作品展」「山田のかかし祭り」「スピリットアート展」に出展し賞をいただいた。 ○障害者スポーツセンターで実施した親子運動会で、コロナロゲータ(ポッチャのボール)を使用し児童生徒の実態に合わせて本校独自にアレンジしたポッチャを行った。 ○第1回高知県ジュニアポッチャ大会に1名参加した。 ポッチャキャラバン2017in高知に1名参加した。 ○作品展では、家族が展示を見に行ってくれたり、表彰式に参加したりするなど、社会参加の機会が生まれました。 ◆文化・芸術の振興 教員①38.7%②62.5%③25.0%④4.2% ◆障害者スポーツの推進 教員①20.8%②33.3%③33.3%④12.5%	C	・いろいろな専門家を活用しながら、取り組んでみてはどうか、プロによる絵画や、顔絵などもいいのではないかと、教員だけでは大変な部分もあるだろうので、人脈など協力していきたい。 ◆文化・芸術の振興 保護者①64.3%②28.6%③7.1%④0.0%⑤0.0% ◆障害者スポーツの推進 保護者①78.6%②14.3%③7.1%④0.0%⑤0.0%	